

武井さん長生きしてね 根本君
今日は節分です。春が来ました 江原君
高さんの群馬大学卒業式は3/20になります 霜村君

会 員 卓 話



パスト会長

武井善作君

「黄綬褒章を授章して」

まずはじめに「黄綬褒章」とは、業務に精励し衆民の模範たるべき者に賜与される日本の栄典の一つと辞書などに記されております。

武井漬物製造株式会社は、1940年に農産物加工業として産声を上げ、七十有余年という星霜を重ねて参りました。

当社は、創業以来、安心・安全・信頼を基本理念に経営に邁進して参りました。当初は沢庵を中心とした漬物製造でしたが、時代と共に移り変わる漬物の需要構造の変化、売れ筋商品の選択等に伴い、現在の商品構成はキムチ製品が60%、沢庵漬と浅漬を合わせて20%、その他20%という割合になっております。

当地の蕨塚本町は、古くから農産物の宝庫であり、蕨塚大根は町の主要農産品で、その品質と味の良さは漬物原料として欠くことのできない天下一品の評を今も広く頂いております。この様な素晴らしい環境に恵まれた当社の原料調達は、言うまでもなく地元優先にこだわり、合わせて仕入数量と仕入価格を安定させる為に、野菜生産者と契約栽培の形をとっております。

創業者である父 又三郎は、明治37(1904)年生まれで、実家は群馬郡相馬村(現箕郷町)の名主の豪農です。長子にもかかわらず独立独歩の精神で、昭和7年に又三郎は現在の地・蕨塚本町で農業を始めました。しかし世界恐慌の打撃を受け農産物価格は落ち込み、特産の大根に付加価値をつけようという事で、農閑期を利用して、東京練馬の漬物業者で3年間修行しました。その甲斐あって昭和15年、武井商店を創業しました。

更に地域農産加工の振興発展の為、ノウハウを周辺の農家に惜しげもなく伝授し、終戦の昭和20年に蕨塚本町農産加工組合を設立し、組合長として蕨塚大根の繁栄と名声への道をつけました。そして県の補助金獲得に成功して、蕨塚本町が大根の一大産地に成長すると共に、地元農家が漬物企業へと発展して行きました。

昭和28年、私が二代目社長として家業を継ぎました。これまでの農業形態を生かしながら、新しい経営形態を模索しておりました。そんな中、縁あって知り合った方から「農作物の質・量をこなすには、生産農家としっかりした組織をつくり、その上に立った契約栽培をしなさい。」とアドバイスを頂き、契約栽培に真剣に取り組まれました。生産農家との間で『武井会』(7組合、約50件)を組織し、種の選定から栽培技術面などの指導を行うと共に、農家との親交を深めて行きました。そして、会で大根の品評会を開催し、群馬県知事賞や蕨塚町長賞、県議会賞なども贈呈できる会に発展させる事ができ、この表彰システムが一層蕨塚大根の名声の確立に繋がったと自負しております。

昭和40(1960)年代半ば、新田郡に関東の大手漬物業者が進出し、当社はそれまでの原料商いから製品づくりに乗り出しました。私の時代対応としての経営方針は、「自分でつくったものは、自分で加工して自分で販

売する」というものです。この信念に基づき、徐々に販売の足場を築き、生産品の流通ルートを確立して行きました。大阪万博の昭和45年にはコンテナ400車を出荷するまでになり、その間、昭和39年に関東漬物協議会の品評会で協会会長賞を、昭和44年に食品衛生協会より受賞、翌年は群馬県特産品展示即売会で農林経済局長賞受賞、更にその翌年の同品評即売会では最高の栄誉である農林大臣賞に輝き、この功績により、群馬県知事より感謝状を頂きました。

その後、味茄子が大ヒット商品となる等して、昭和49年武井漬物製造株式会社を設立し、翌年50年に大型冷蔵庫を導入するなど、工場の拡張や整備を行いました。昭和53年には食品衛生優秀工場として県知事より表彰されました。また2度目の農林大臣賞を受賞し、昭和54年には税務署長から表彰され、精神薄弱者の雇用促進に対し知事賞を受賞するなどしました。

そして更に大きな躍進の転換となったのが、キムチ製品の開発です。日本人の味覚を考慮して改善した『プサンキムチ』が好評を頂きました。昭和59年には関東信越国税局長より納税功労表彰、昭和62年には『かつお沢庵』が農林水産省食品流通局長賞を受賞しました。

1994年には企業イメージ統合戦略(CI)の確立として原材料栽培農家・販売店・当社の一体感を表現したシンボル・マークを決め、96年には新社屋竣工、同時に配送センター機能の充実と製品直売を本格化しました。また商品の多様化に伴い99年に最新大型自動カップ詰機の導入、ISO、HACCP対応工場の環境整備を開始し、資本金の増額など行い、2000年には農林水産大臣認定工場(JAS)を取得しました。

この様に、産業の近代化と生産向上に尽力し、2003年に食品産業優良企業等表彰(農林水産大臣賞)を、2004年に弟 重太郎が社長に就任して私が会長となり、2006年にはISO9001の認証を受けました。

この頃になると年商10億円台半ばまで達し、キムチシリーズが総売上の70%を占めるようになりました。少子化に伴い漬物出荷額がピークを過ぎる中において、いち早くキムチへの生産にシフトした事が成功の鍵であったと思っております。

その間、農林水産大臣賞など数種の商品が受賞すると共に、2008年に長男 均が社長に就任し、同年地元企業の連携を築く先進的な取り組みが認められ農林水産大臣賞を受賞しました。

個人法人で8つの大臣賞を頂いております。そして23年秋、黄綬褒章を授章致しました。この章はその道一筋の章です。

私の今の心境は、父が起こした企業を継いで50年、父の様な素直な心をモットーに、健康な身体をくれた両親を始め、兄弟家族、支えてくれた全ての人に感謝をして、生命ある限り常に前を見つめ、全力を尽くしていきたいと思っております。

理事会報告 2月3日

1. 桐生赤城RCとの合同夜間例会の会費はクラブから1人千円を補助する。
2. ローターアクト年次大会協賛金は本部費から拠出する。
3. 地区震災義援金協力要請は家住G補佐の意向を踏まえて継続審議する。
4. 地区協議会実行委員会の組織編成を承認。
5. つつじヶ丘チャリティショー後援団体を承認。
6. タイ・バンコク国際大会参加を次回会長報告の中で募る。

《次例会予告》

2月17日(金) 外部卓話

清章司パストガバナー「ロータリー創立記念日に因んで」